

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 気道病変に対する呼吸器インターベンションの治療成績に関する研究』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 呼吸器外科 職位・氏名 助教・肥塚 智

【研究の目的】

気管支鏡を使用して行う気管支ステント留置術等の気道病変に対する呼吸器インターベンション治療は、低侵襲であり患者様の quality of life (QOL) を重視した有用な治療方法です。しかしながら、ステントの選択や手技等に関する未解決な問題がまだ多くあります。東邦大学医療センター大森病院呼吸器外科では、呼吸器インターベンション治療の問題点・有用性を明らかにし、患者様に利益をもたらす有用な治療方法を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、患者様の QOL や予後改善につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。1998 年～2021 年までに東邦大学医療センター大森病院呼吸器外科において、気道病変に対し、呼吸器インターベンション治療を受けた症例で、術前に「病理診断のための組織の教育・研究目的に使用することに関する同意書」にサインを頂いた患者様を対象とし、インターベンション治療の有用性や問題点を検討します。

【研究に用いられる試料・情報】

病歴、CT 画像や治療経過等の診療情報を使用します。

【外部への試料・情報の提供】

予定ていません。

【研究組織】

代表施設名：東邦大学医療センター大森病院 研究代表医師：肥塚 智 役職：助教

【個人情報について】

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがあります
が、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や病理解剖結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 呼吸器外科

職位・氏名 助教・肥塚 智

電話：03-3762-4151 内線 6550